

I

学部教育の理念と目標

- 学部教育の理念と目標

学部教育の理念と目標

—理学部の学生へのメッセージ—

理学部長 ● 香 野 淳

人間は古来、太陽や大地など自然からの恩恵を享受し、ときに生命の脅威ともなる自然の働きに畏怖・畏敬の念を抱いてきました。その一方で、太陽、星々の輝きや運行に規則性を見出し、宇宙に思いを馳せるとともに、身の回りに存在する多種多様な物質の要素などに興味をもち、観察し、考察を重ねてきました。その好奇心、探求心を原動力として、不思議や謎を解き明かしつつ、その知識を使って文明を築いてきました。

「理学」は、自然や事物の「理（ことわり）」を解明する学問で、私たちは自然の真理に迫り、その背後に潜む普遍的な法則や原理を探究しています。高校の理科と数学ではすでに解明されてきたことを主に知識として学習しますが、大学ではその内容をさらに深く理解していきます。日常生活で目にする現象、ニュースやインターネットで得られる情報にも、簡単に説明できない疑問が沢山あるのではないのでしょうか。それらの疑問に対して、既知の科学や数学によって「何が、どこまで答えられるのか」が分かるようになることも大学での大切な学びです。さらに、未だこの世界には謎や不思議があふれています。理学部は、不思議の探求、謎の解明にチャレンジする人が集う場でもあります。

理学部での学びや探究、研究は、「なぜ」「どうして」という疑問をもつことから始まり、「問い」を立てる力が大切になります。そして、大学で「なぜ」を探求し、学ぶ過程にあつては、すぐには答えのない疑問、難問に巡り合うでしょう。その時こそ、粘り強く学び、考え、探求していくことが大切です。そのようなある種の鍛錬の中で、学び・理解が深まり、自身の能力を高めていくことができます。

理学部は、多彩な学問分野で構成されており、皆さんは興味・関心に応じて専門分野の学問を深く学ぶことができます。また、全学共通教育では、視野を広げ、多角的に物事を捉える力をつけるために、人文科学、社会科学、外国語などの幅広い教養を学ぶとともに、現代社会の課題について他学部の学生と学び合う機会を得ることができます。私たち人類はいま、環境問題や大規模災害、感染症などの深刻な問題・課題に直面しています。「理学」には、自然現象の解明を通じて問題・課題の本質的理解に迫り、解決へと導く重要な役割があります。皆さんには、理学部で専門分野を深く学ぶとともに、教養を身につけ、社会課題の解決にも力を発揮できるようになっていただきたいと願っています。

理学部では、学科・コースごとに専門分野を体系的に学ぶためのカリキュラムを編成しています。1、2年次には、少人数クラスのゼミ、講義、実験・実習・演習によって基礎学力と思考力を養っていきます。複数名で協力して課題に取り組む機会、議論し、学び合う機会を通じて、協働する能力、コミュニケーション力も養っていきます。2年次後半からは徐々に専門分野の科目が増えていきます。3、4年次には、基礎科目の学習に加えて、専門分野の科目群から自ら科目を選択して学んでいきます。講義だけでなく、実験・実習・演習、研究科目などを配置して、それぞれの分野を体系的に深く理解できるように、また、視野を広げることができるように、学科・コースごとに工夫されたカリキュラムを編成しています。また、学びの集大成となる卒業研究では、問題・課題を見出し、議論・討論を通して理解を深め、課題を解決するプロセスを経験します。また、プレゼンテーションや他者に伝える力を高めます。

4年間の学びを通して、自然の法則や原理、科学の方法論を学び、物事を捉える視点や考え方、実践力を培うとともに、主体的に取り組む力、学び続ける力を身につけてください。それらの能力は、社会で活躍する礎となり、生涯の財産となります。

この学修ガイドは、皆さんが理学部で学び、卒業するために知っておかなければならない重要な事項が記載された履修の手引きです。必ず内容を確認し、活用してください。

「なぜ」と思う好奇心を大切にし、あきらめず、粘り強く考え、学び続けていくことが大切です。何事にも積極的に挑戦し、充実した学生生活を送られることを心から願っています。